

インテリジェント・サーベイランス・ソリューション



Intelligent Video Surveillance ユーザーマニュアル

インテリジェント・サーベイランス・ソリューション-1-

目次

1. 初めに.....	4
2. アクセス IVS 設定.....	4
3. カスタマイズしたトラッキング表示.....	9
4. 検出区画と線の作成.....	12
4.1.	ゾーンまたは ラインを作成する..... 12
4.2.	ゾーンとライ ンを編集..... 13
4.3.	ノードの追加 と削除..... 13
5. ゾーンとルールを設定する.....	15
5.1.	トラッキング 表示..... 16
5.2.	検出プロパテ ィ..... 17
5.2.1. プレゼンス.....	17
5.2.2. Enter&Exit.....	18
5.2.3. 表示および消滅.....	19
5.2.4. 停止.....	20
5.2.5. ドウエル.....	21
5.2.6. 方向フィルター.....	21
5.2.7. テールゲート.....	21
5.3. 非検出ゾーン.....	23
6. カウンター.....	24
6.1. カウンターの作成.....	24
6.2. カウンタープロパティ.....	25
7. カメラの較正.....	26
7.1. アクセス.....	26
7.2. 画面上の要素.....	27
7.2.1. 3D グラフィックスオーバーレイ.....	27
7.2.2. マウスコントロール.....	28
7.3. カメラのキャリブレーション.....	28
8. 上級 IVS 設定.....	31
8.1. アクセス.....	31
8.2. 高度な設定.....	32

9. 分類.....	35
9.1. アクセス.....	35
9.1.2 分類設定.....	36
10. タンパー検出.....	37
10.1 アクセス.....	37
10.2. タンパー検出設定.....	38
11. IVS ログビューア.....	39
11.1. ログビューア.....	39
11.2. 係数アプリケーション.....	40
11.3. 係数・アプリケーション (ダイアグラム).....	41

インテリジェント・サーベイランス・ソリューション-2-1.

1. 初めに

はじめにアドバンスド・インテリジェント・ビデオ・サーベイランスは、最先端の画像処理アルゴリズムを搭載したプログラムで、照明、葉、水波などの環境変化を考慮しながら、動く物体と静止した物体の両方を追跡します。

高度なインテリジェントビデオ監視機能は、アラートをリアルタイムでトリガーする検出ルールを定義するための設定が容易な UI を備えています。

アラートは、ハードウェアでサポートされている形式でサポートされています。

より高度な把握のために、インテリジェントビデオサーベイランスは、本書では IVS として以下で扱います。

このマニュアルでは、各アプリケーションを設定し、IVS によって提供されるすべての機能を使用者に案内します。

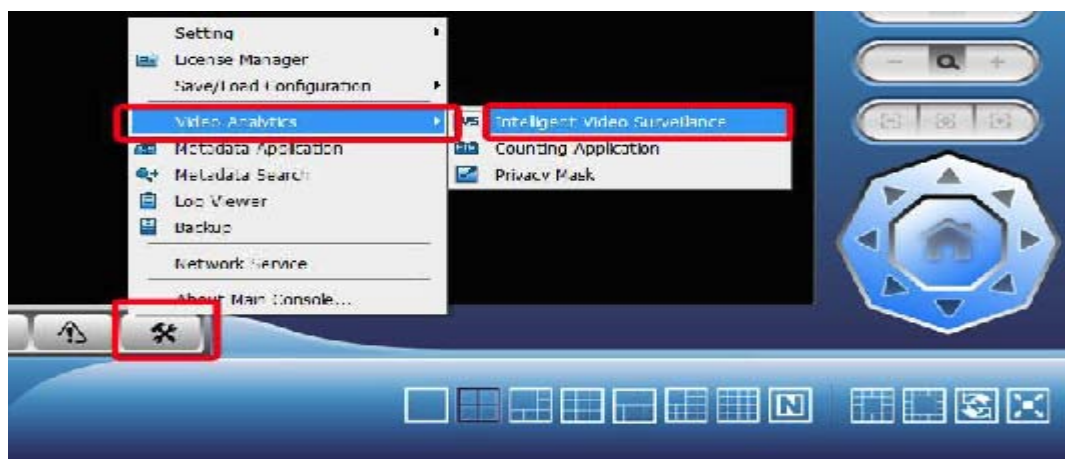
2. アクセス IVS 設定

IVS 設定へのアクセス IVS を設定して、検出ルールと検出ゾーンを定義します。

IVS 設定にアクセスするには、2つの方法があります。

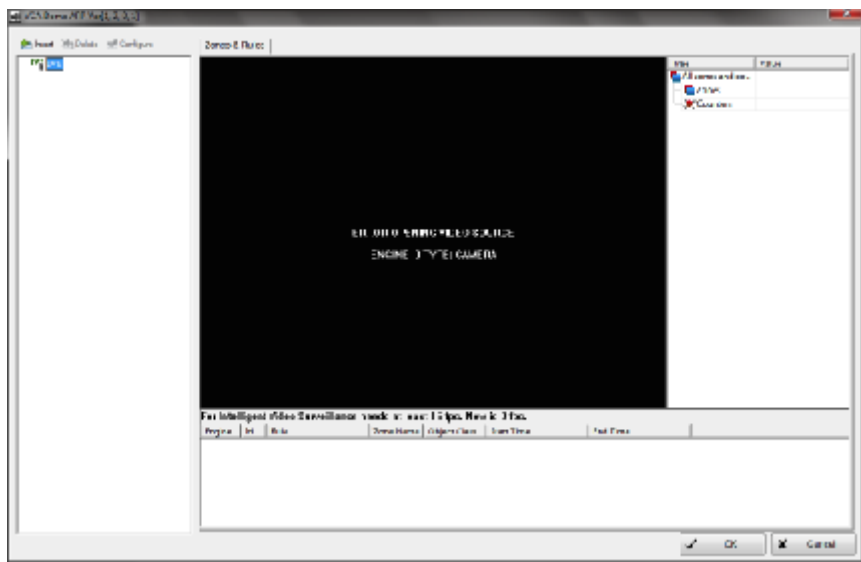
アプローチ 1:

1. メインコンソール画面で、ボタンをクリックします。メニューが開きます。
2. [Video Analytics]を選択します。インテリジェントビデオ監視。



IVS が開きます。

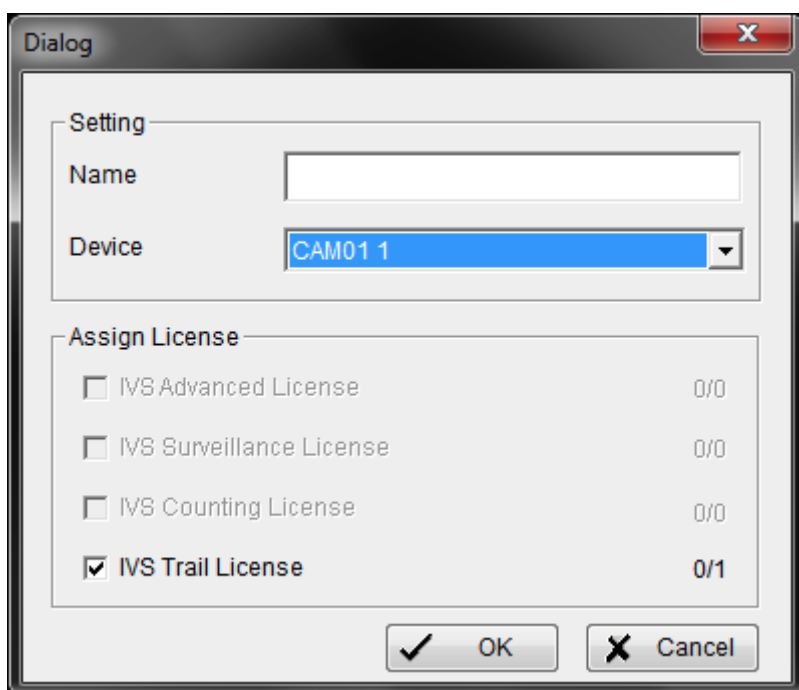
インテリジェント・サーベイランス・ソリューション-3-



3. IVS 画像の右上から挿入をクリックします。



ダイアログが開きます。



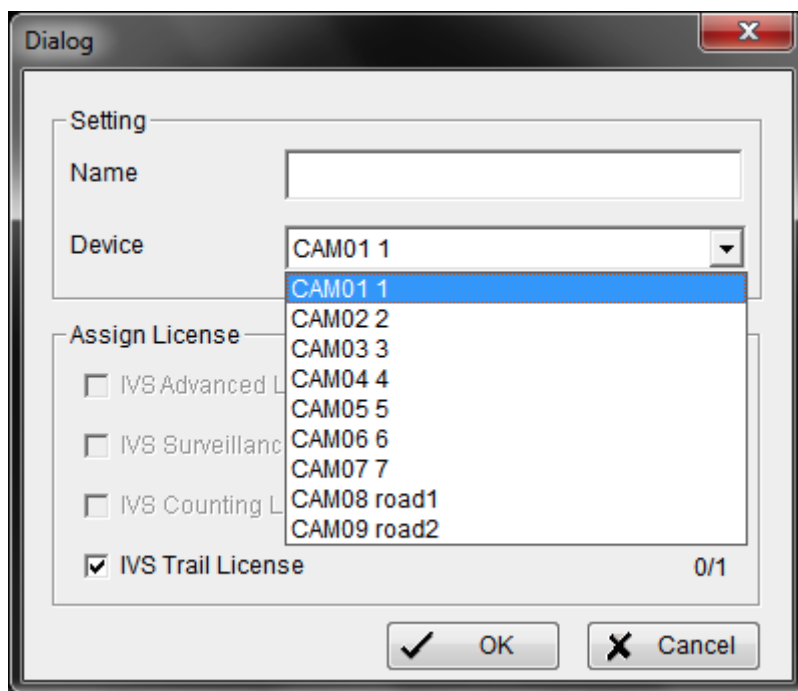
注：IVS Trail のライセンス期間は 45 日間です。

インテリジェント・サーベイランス・ソリューション-4-

IVS ライセンス機能テーブル：

関数	カウントライセンス	サーベイランスライセンス	上級ライセンス
人数	●		●
車両数	●		●
安定剤	●		●
タンパー検出	●	●	●
プレゼンス		●	●
表示消去		●	●
入力終了		●	●
滞留		●	●
停止中		●	●
尾行		●	●
人数		●	●
車両カウント		●	●

4. デバイスのプルダウンボックスからカメラを選択します。[OK]ボタンをクリックします。



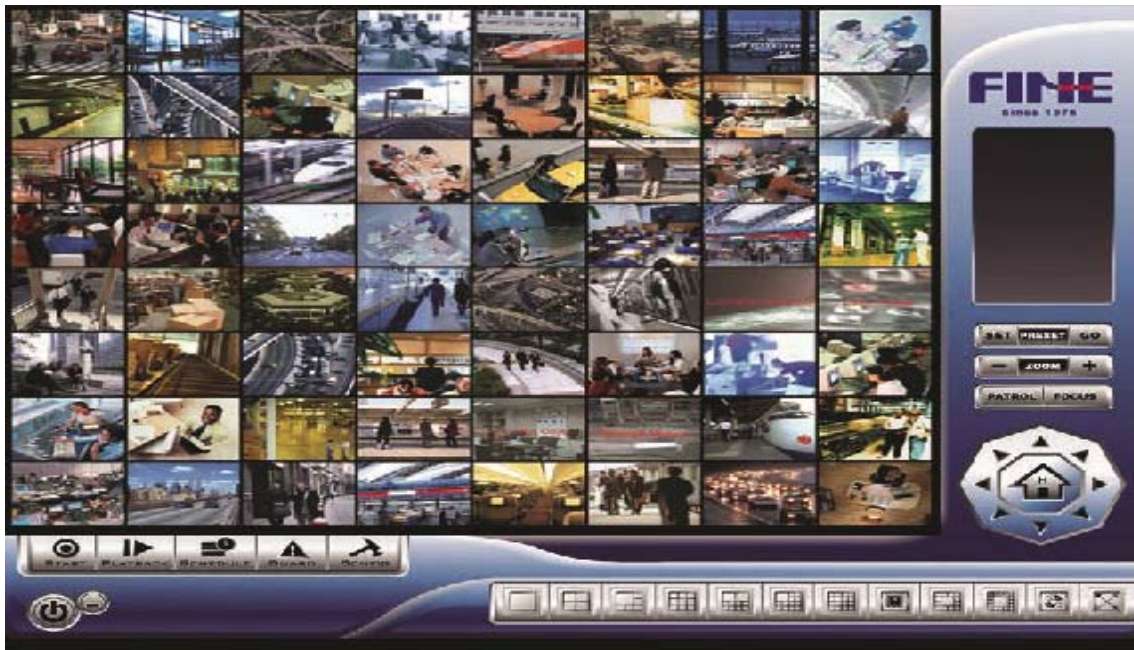
インテリジェント・サーベイランス・ソリューション-5-

5. IVS 設定画面が開きます。

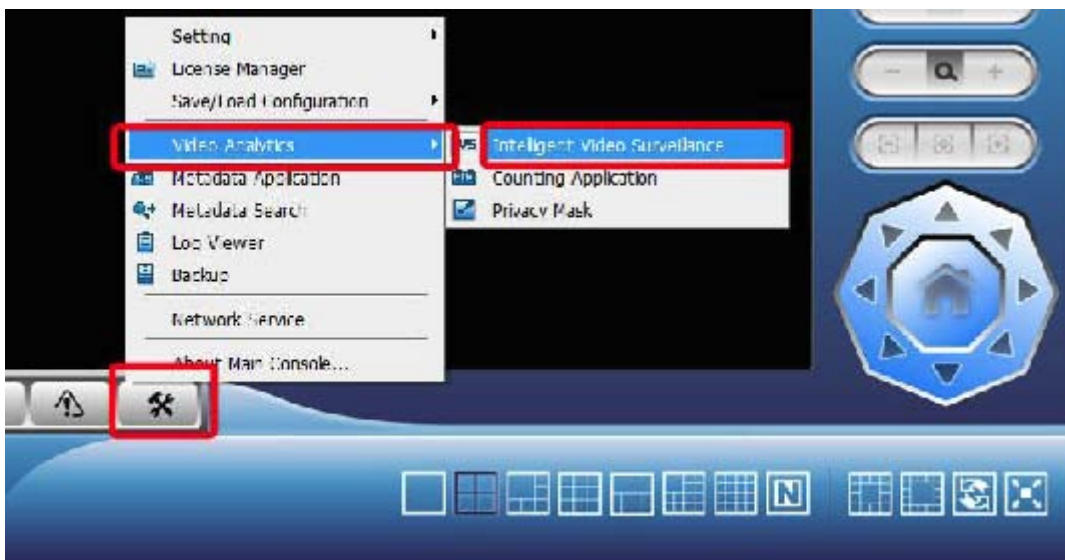



アプローチ 2

1. メインコンソール画面で、カメラをダブルクリックしてビデオを分析します。



選択したカメラのビデオ画像が IVS ウィンドの場合、フルスクリーンで開きます。
インテリジェント・サーベイランス・ソリューション-6-



2. メニューバーから、 ボタンをクリックします。ビデオ分析を選択→インテリジェントビデオ監視。IVS 設定画面が開きます。

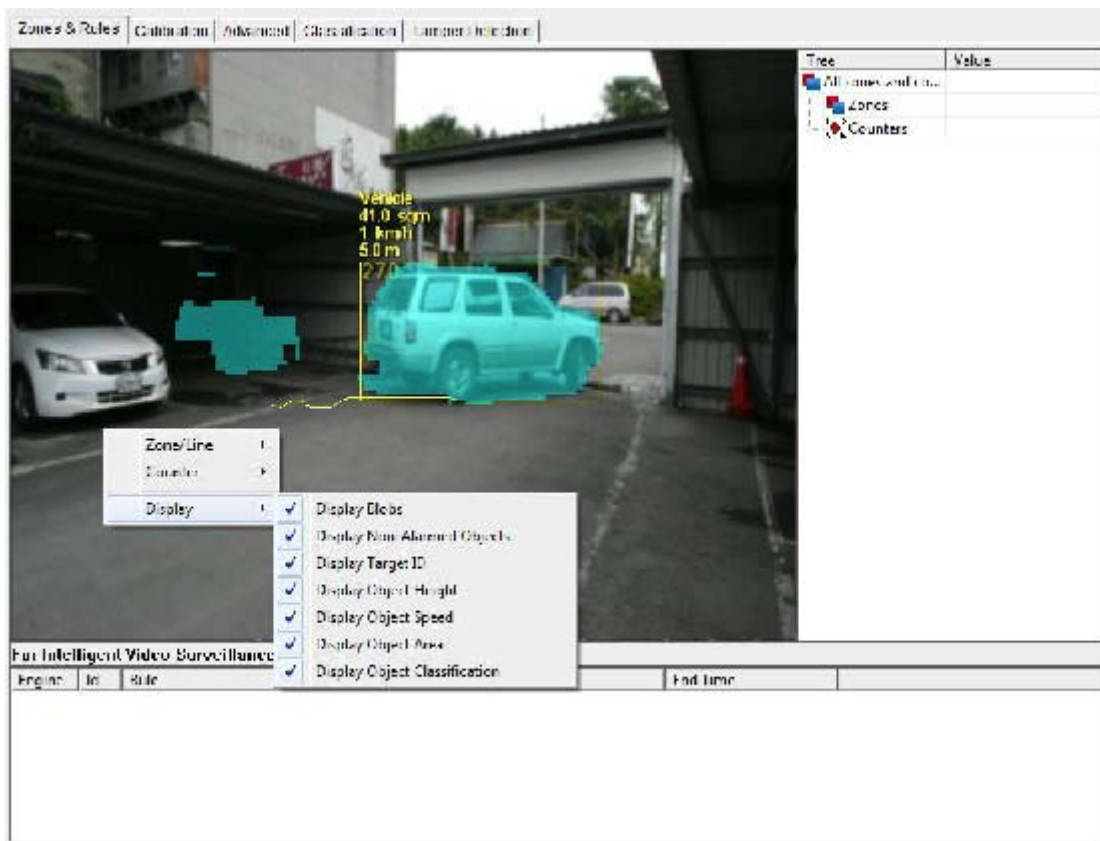


インテリジェント・サーベイランス・ソリューション-7-

3. カスタマイズしたトラッキング表示

追跡表示ウィンドウをカスタマイズして、さまざまな追跡データを表示します。トラッキング表示をカスタマイズするには：

1. トラッキング表示ウィンドウを右クリックします。メニューが開きます。
2. 表示を選択します。サブメニューが開きます。
3. 開いているサブメニューから選択します。



インテリジェント・サーベイランス・ソリューション-8-

お勧めの設定は次の通りです。

設定	説明	デフォルト
ブロブ表示	ブロブでアルゴリズムのカバレッジを表示します。ブロブはターコイズで表示されます。	選択解除（無効）

非アラームオブジェクトの表示	<p>以下を含むすべてのオブジェクトを表示します。</p> <p>検出ゾーンと物体の軌跡がどのように交差しているかを示すために、警告され、非警報にされ、最適な設定を行う。</p> <p>▶警告されたオブジェクトは赤でマークされます。</p> <p>▶警告されていないオブジェクトは黄色で表示されます。</p>	選択済み（有効）
オブジェクトの高さを表示	<p>オブジェクトの高さ表示</p> <p>▶このオプションは、カメラがキャリブレーションされている場合にのみ使用できます。カメラのキャリブレーションも参照してください。</p>	選択解除（無効）
オブジェクト速度の表示	<p>オブジェクト領域を表示</p> <p>▶このオプションは、カメラがキャリブレーションされている場合にのみ使用できます。カメラのキャリブレーションも参照してください。</p>	選択解除（無効）
オブジェクト領域の表示	<p>オブジェクト領域を表示</p> <p>▶このオプションは、カメラがキャリブレーションされている場合にのみ使用できます。カメラのキャリブレーションも参照してください。</p>	選択解除（無効）
オブジェクトの分類を表示	オブジェクトの分類を表示	選択解除（無効）

	▶このオプションは、カメラがキャリブレーションされている場合にのみ使用できます。カメラと分類の較正も参照してください。	
--	---	--

4. OK ボタンを押して変更を保存し、設定を終了します。

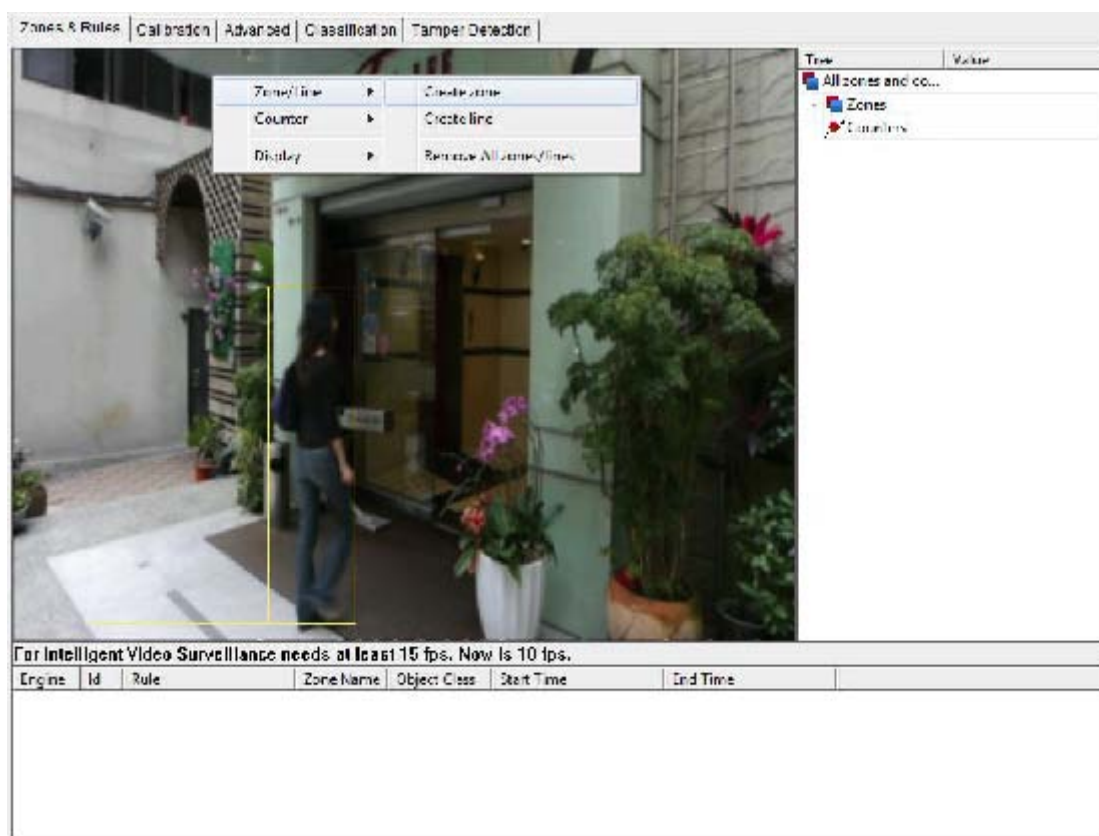
4. 検出ゾーンと回線を作成する

関心のあるイベントを検出できるように検出ゾーンと回線を定義します。

4.1. ゾーンまたはラインを作成する

1. ビデオイメージを右クリックします。メニューが開きます。

2. ゾーン/ラインを選択します。サブメニューが開きます。
3. [ゾーンの作成]または[回線の作成]を選択します。



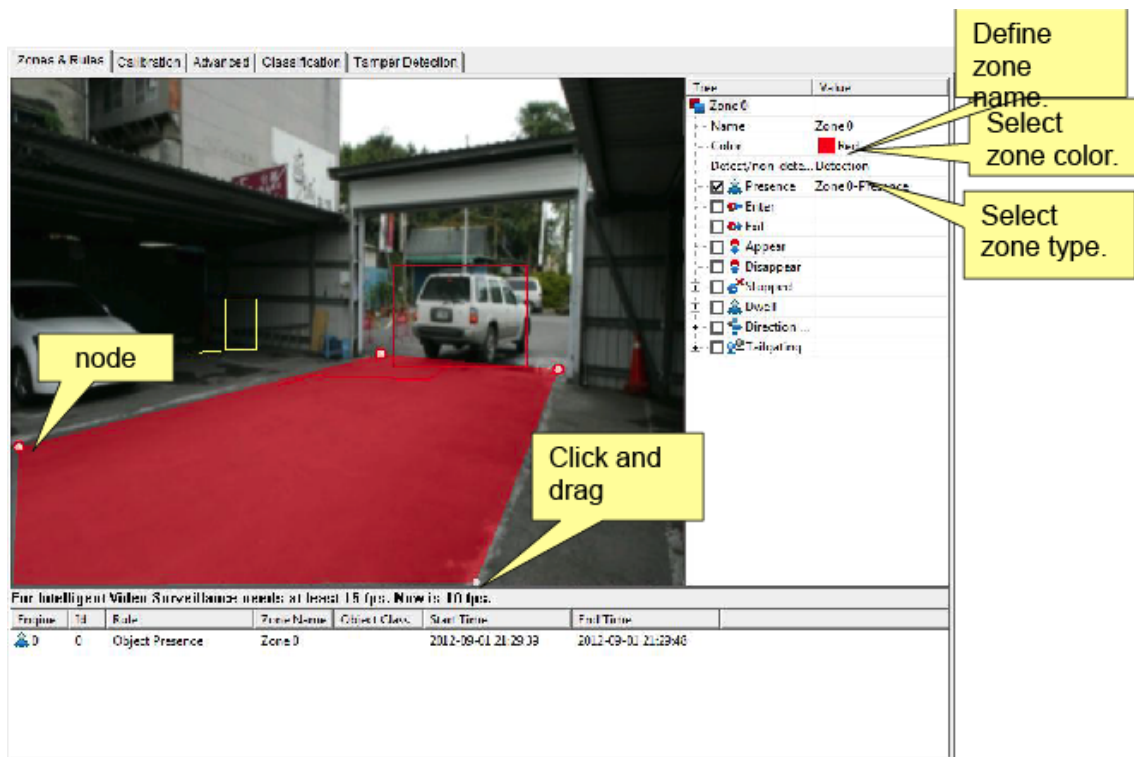
4. [4.2.]を参照してください。フォローアップのためにゾーンとラインを編集します。

インテリジェント・サーベイランス・ソリューション-10-

4.2. ゾーン及びラインの編集

定義された検出ゾーンおよび線の形状またはサイズは、ゾーン/線の頂点を表す[ノード]を操作することによって操作できます。ノードをクリックして目的の位置にドラッグするだけで、ゾーンまたはラインの形状を変更できます。

複雑な形状を定義するには、ノードを追加または削除する必要があります。フォローアップについては、ノードの追加と削除を参照してください。



4.3. ノードの追加と削除

任意のシナリオに対応するために、検出ゾーンとラインの形状を再定義するために 1 つまたは複数のノードを追加します。

ノードを追加するには：

1. 新しいノードを追加する必要があるポイントでゾーンまたはラインをダブルクリックします。または、新しいノードを追加する必要があるポイントでゾーンまたはラインを追加する必要があるポイントでゾーンまたはラインを右クリックします。そして、ノード。開いているメニューからノードを挿入します。
2. OK ボタンを押して変更を保存し、設定を終了します。

インテリジェント・サーベイランス・ソリューション-11-

ノードを削除するには：

1. ノードを右クリックし、[ノード...]を選択します。開いているメニューからノードを削除します。

The screenshot shows a video surveillance software interface. The main window displays a camera view of a street scene with a red polygonal zone and a green line. Two yellow callout boxes point to these elements, labeled "Multiple node zone" and "Multiple node line". To the right is a configuration panel for "Zone 0" with various settings like Name, Color, and Detection rules. Below the camera view is a status bar with a warning message and a table of event logs.

Frame	ID	Rule	Zone Name	Object Class	Start Time	End Time
0	20	Object Presence	Zone 0		2012-09-01 22:08:53	2012-09-01 22:08:53
0	19	Object Presence	Zone 0		2012-09-01 22:08:51	2012-09-01 22:08:51
0	17	Object Presence	Zone 0		2012-09-01 22:08:27	2012-09-01 22:08:54
0	18	Object Presence	Zone 0		2012-09-01 22:08:27	2012-09-01 22:08:41
0	15	Object Presence	Zone 0		2012-09-01 22:08:09	2012-09-01 22:08:22

2. OK ボタンを押して変更を保存し、設定を終了します。

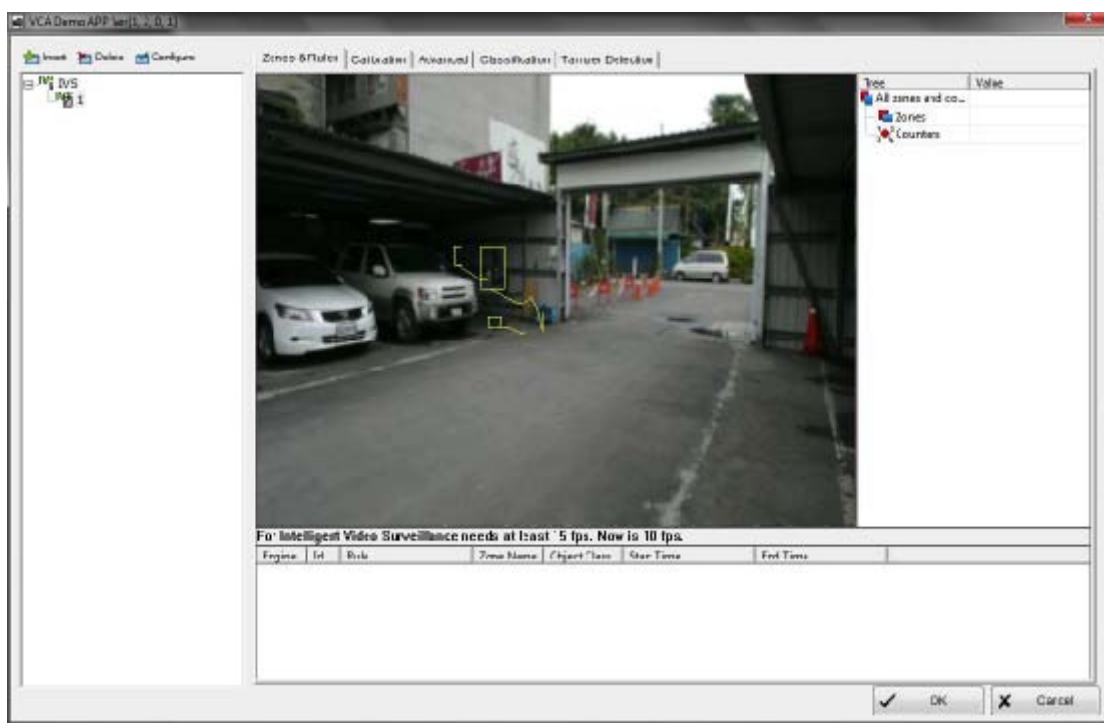
5. ゾーンとルールの設定

有効な出力を作成するには、監視するゾーンとルールを定義することが不可欠です。IVS には、ゾーンとルールの設定があり、検出ゾーンと検出ルールを調節します。この章では、

ユーザーが設定を行う方法について説明します。

ゾーンとルールの設定にアクセスするには：

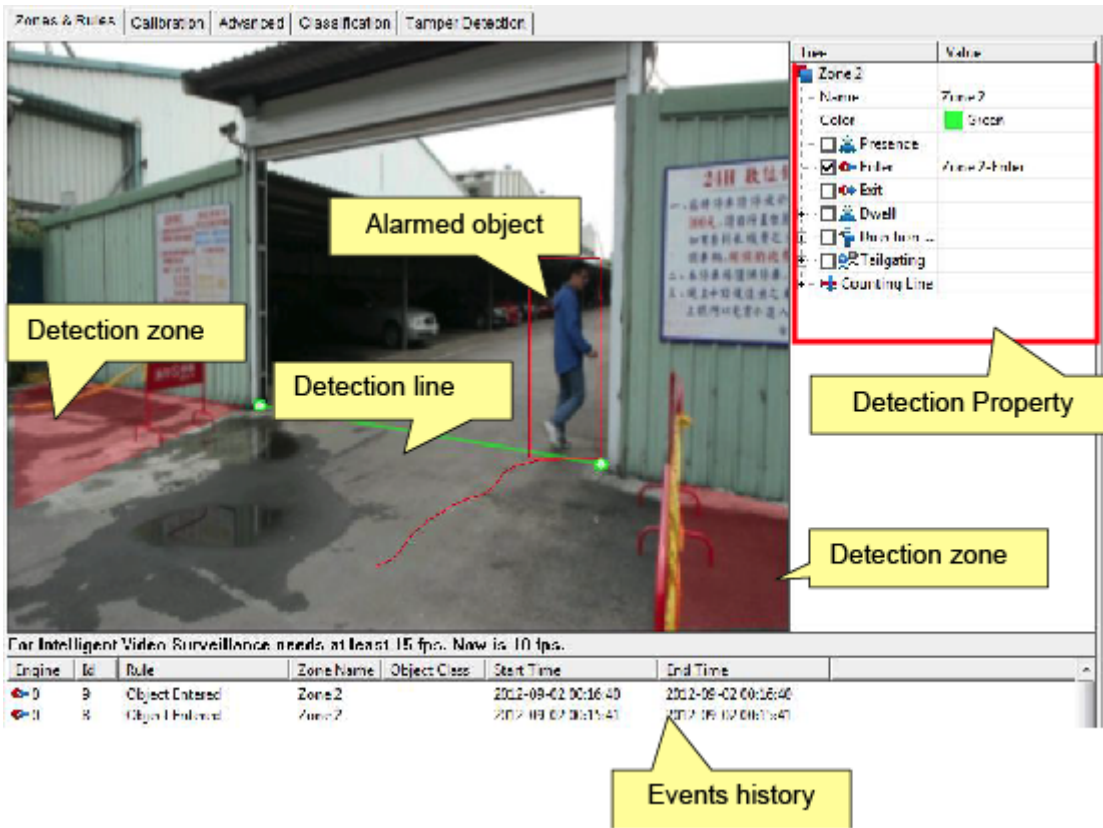
1. 「アクセス IVS 設定」で説明しているように、IVS 設定にアクセスします。IVS が開き、ゾーンとルールタブページが表示されます。



インテリジェント・サーベイランス・ソリューション-13-

5.1. トラッキング表示

追跡表示には、IVS によって現在追跡されているすべての移動ターゲットおよび静的ターゲットが表示されます。警告されたオブジェクトは赤にマークされ、警告されないオブジェクトは黄色でマークされます。



このスクリーンショットは、赤色の2つの検出ゾーンと緑色の検出ラインを示しています。

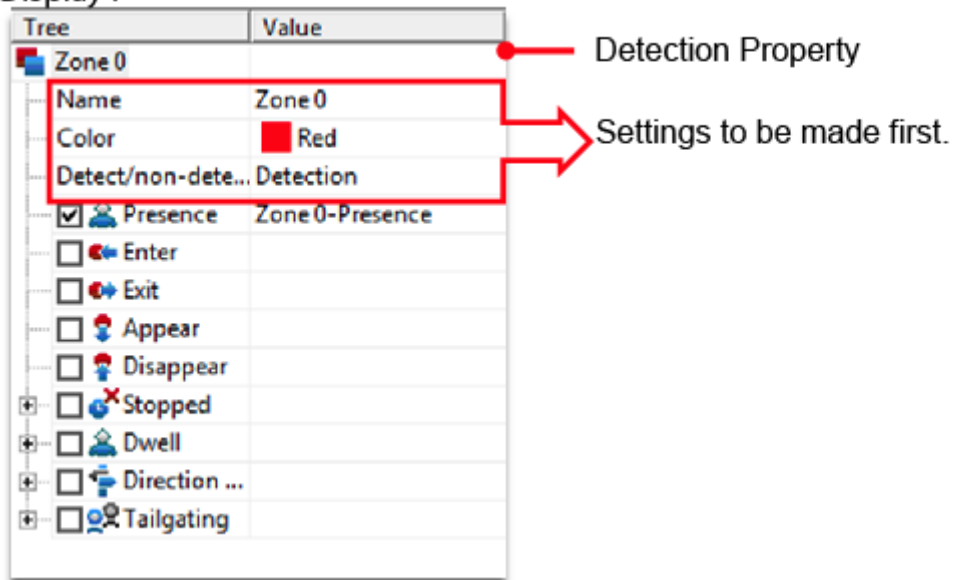
追跡表示には、オブジェクトの軌跡がどのように検出ゾーンおよび線と交差するかが示されます。

インテリジェント・サーベイランス・ソリューション-14-

5.2. 検出プロパティ

検出ゾーンまたはラインが作成されると、選択したゾーン/ラインのルールを定義する一連の設定である検出プロパティがトラッキング表示の右側に表示されます。

Display .



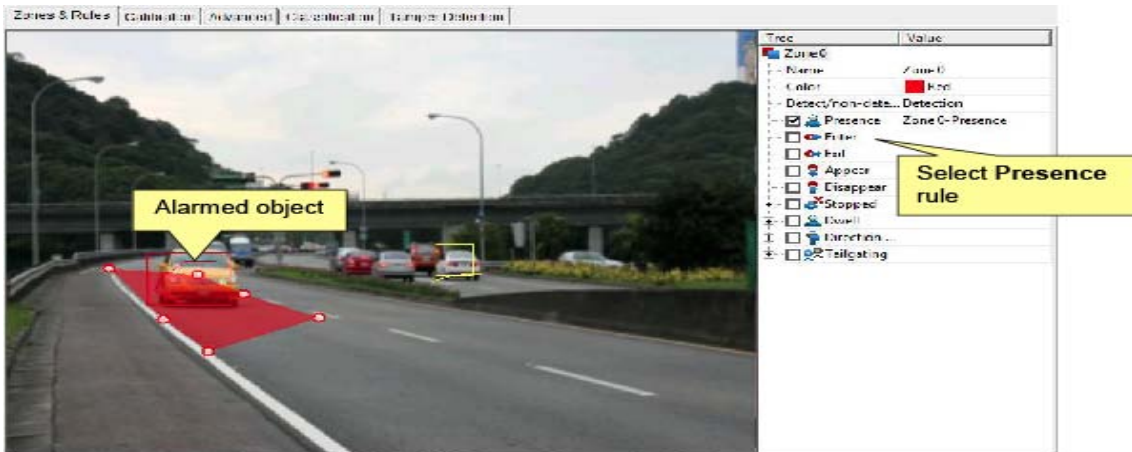
検出プロパティを設定する前に、次の設定を最初に行います。

設定	説明	デフォルト
名前	作成されたゾーンまたは行をなめでダビングします。	ゾーン ID 番号
色	作成したゾーンまたはラインを色でハッチして明瞭にします。	赤
検出/非検出	作成されたゾーン/行を検出に「使用可能にするか、検出不可にします。 ▶非検出ゾーンも参照してください。	検出

利用可能な機能と適正される設定に応じて、利用可能なルールには次のものが含まれます :

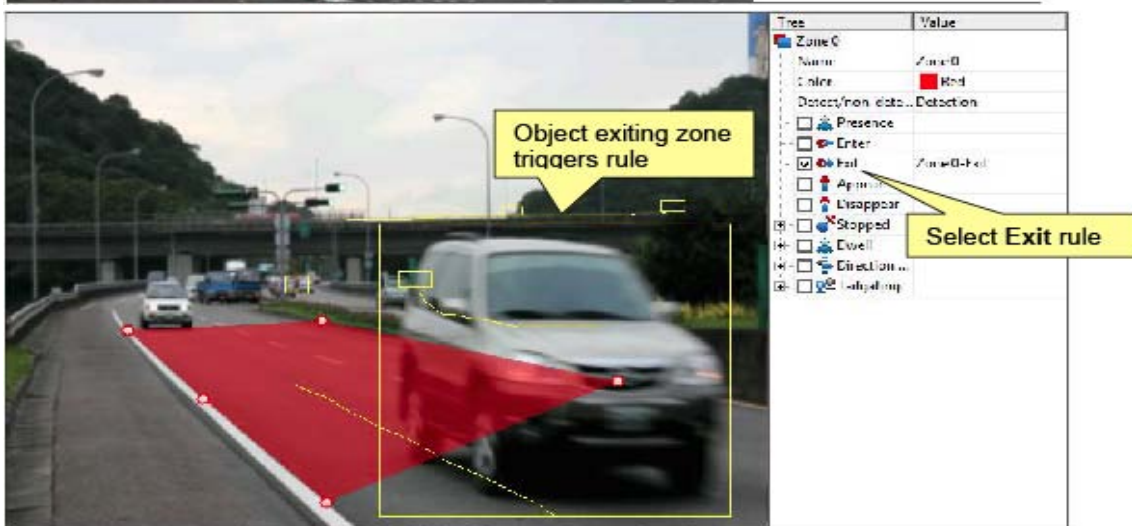
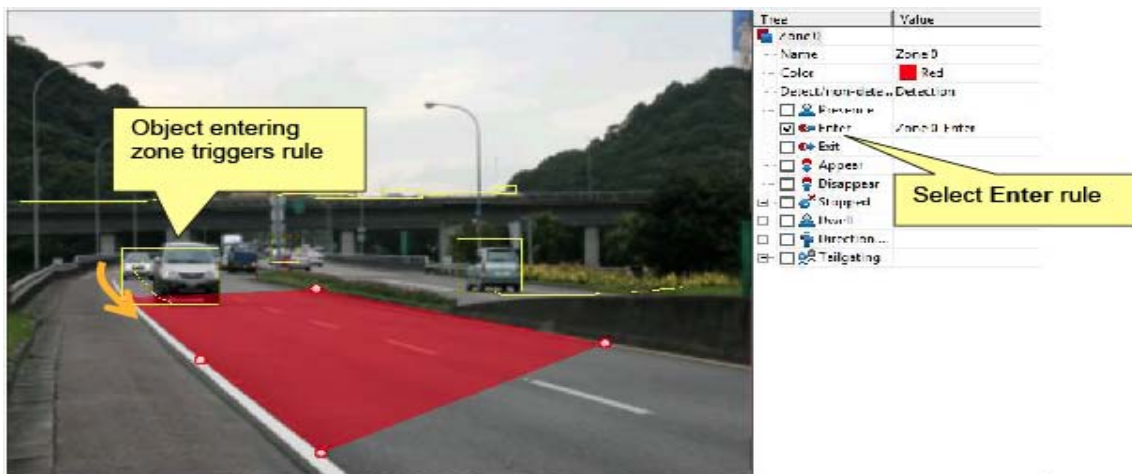
5.2.1. Presence

オブジェクトがゾーン内に存在するか、またはラインを通過したときに、アラームをトリガーする Presence を選択します。



5.2.2. Enter&Exit

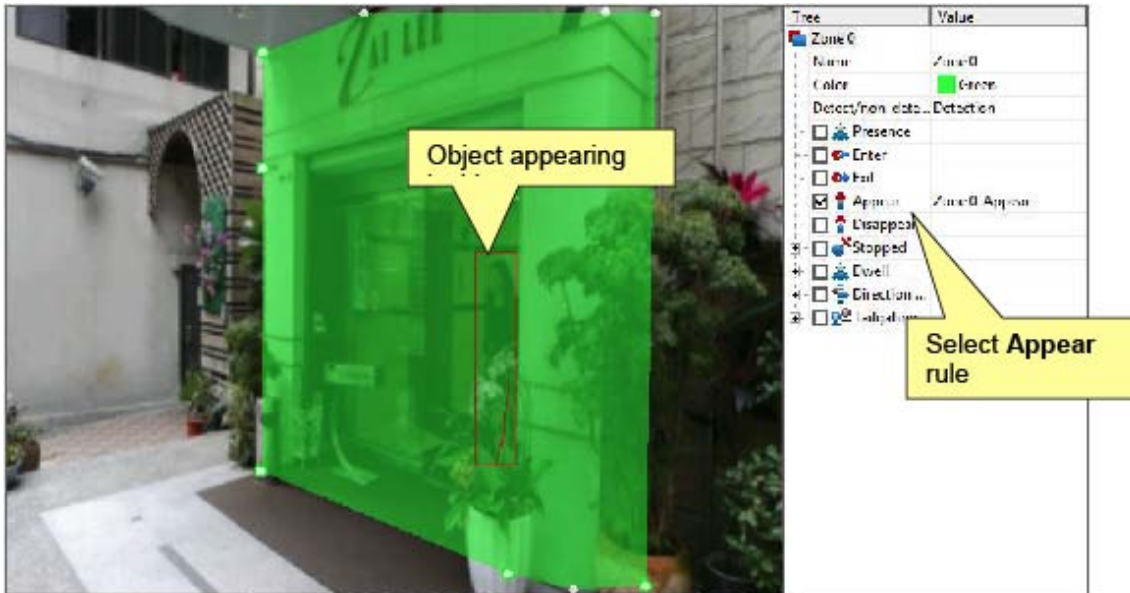
オブジェクトが外側から内側に、または内側から内側に向かって監視対象ゾーンを横切るときに、アラームをトリガーするには、Enter または Exit を選択します。



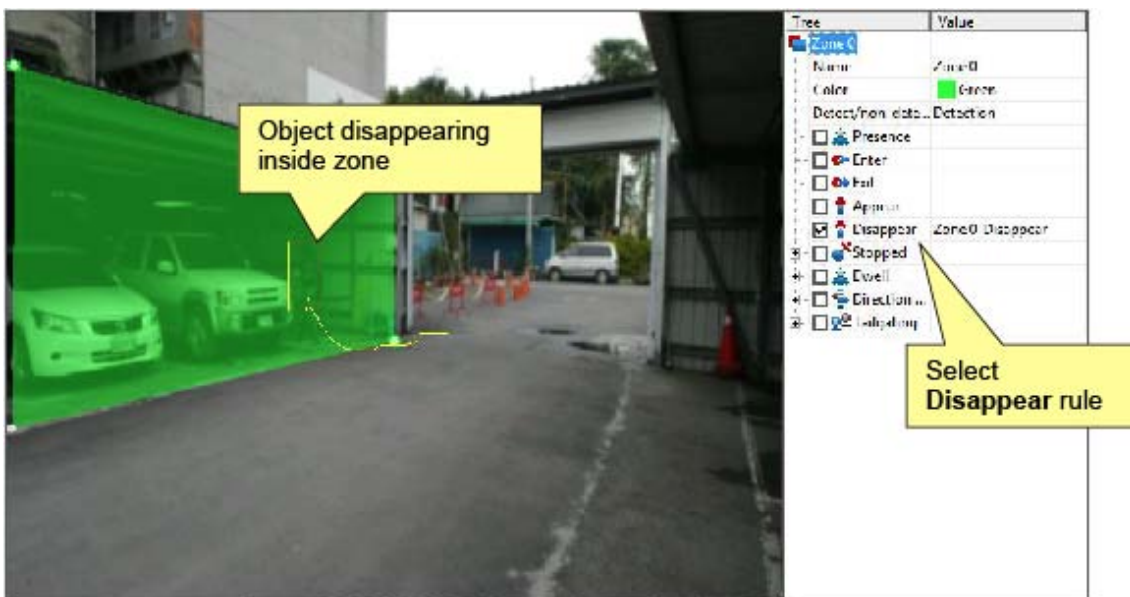
5.2.3. 表示および消滅

監視ゾーンにオブジェクトが表示されたり消えたりすると、アラームが表示されます。

Enter とは異なり、Appear は、監視ゾーン内に最初に検出されたオブジェクトを処理します。出入り口に出現する人々、または地下駐車場から出現する車。



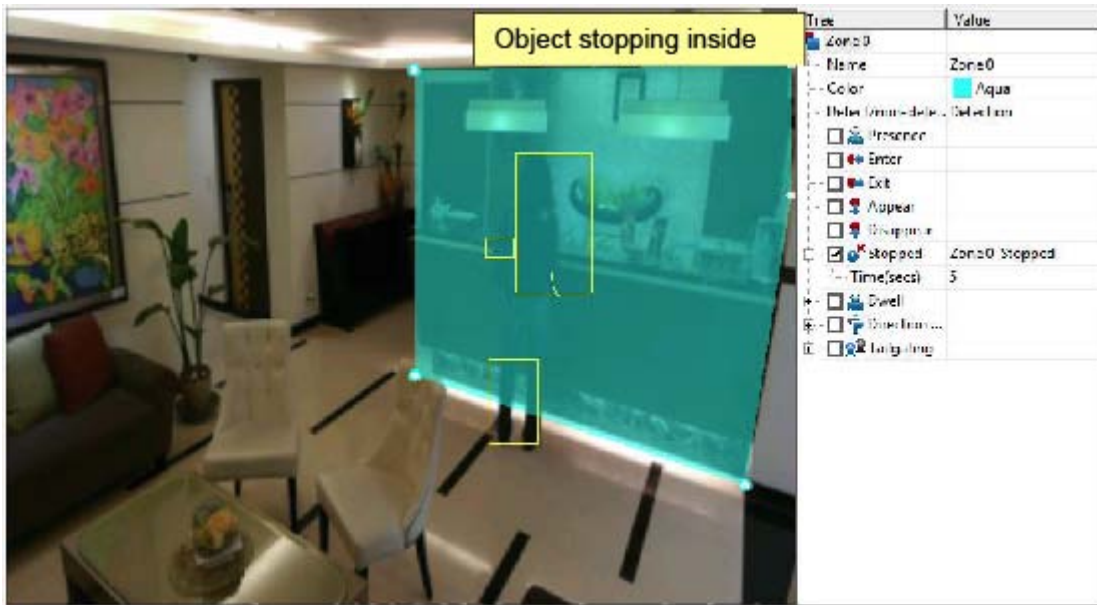
Exit とは異なり、Disappear は監視対象ゾーンにトラッキングされ、終了せずに消えるオブジェクトを扱います。



5.2.4. 停止

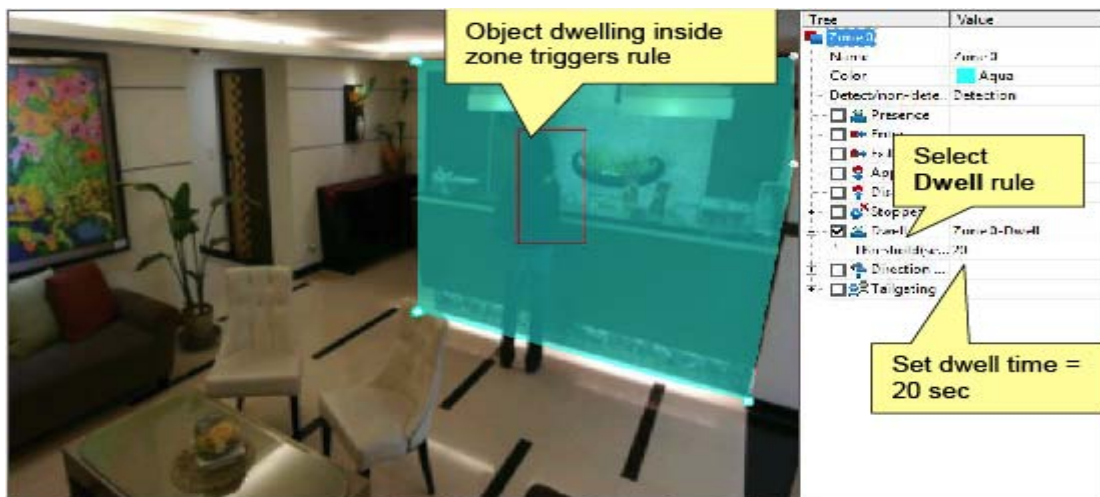
指定された時間よりも長い時間監視されたゾーン内でオブジェクトが停止したときにアラームをトリガーするには、[停止]を選択します。

停止時間は、時間（秒）ボックスで設定できます。



5.2.5. ドウェル

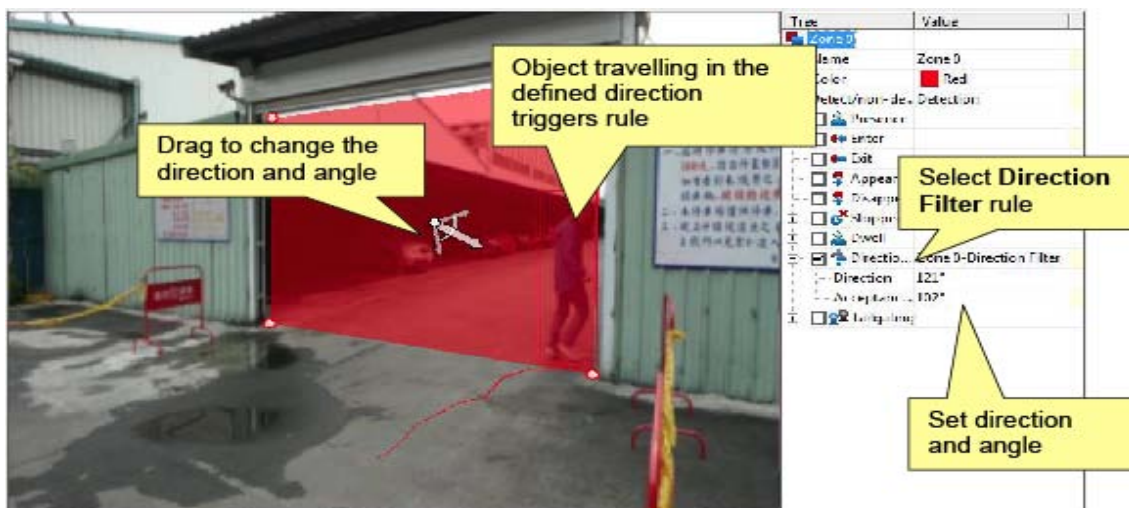
ドウェル (Dwell) オブジェクトが定義された時間以上ゾーン内に滞留しているときにアラームをトリガーするには、ドウェルを選択します。



5.2.6. Direction Filter (方向フィルター)

オブジェクトが監視されたゾーンまたはラインを通して定義された方向 (受け入れられた角度以内) に移動したときにアラームをトリガーするフィルター

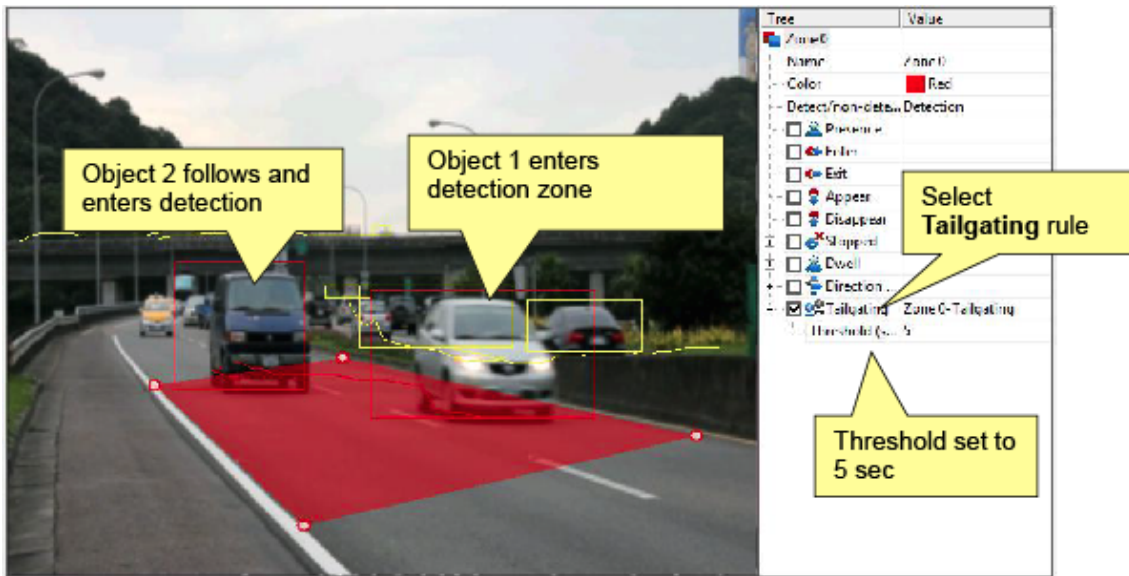
Direction と Acceptance Angle の設定で方向と角度を定義します。



5.2.7. テールゲート

テールゲート前のオブジェクトがラインまたは監視されたゾーンを横断した後、一定の時間内にオブジェクトがラインまたは監視ゾーンを横断したときにアラームをトリガーするために、検出プロパティでテールゲートを選択します。

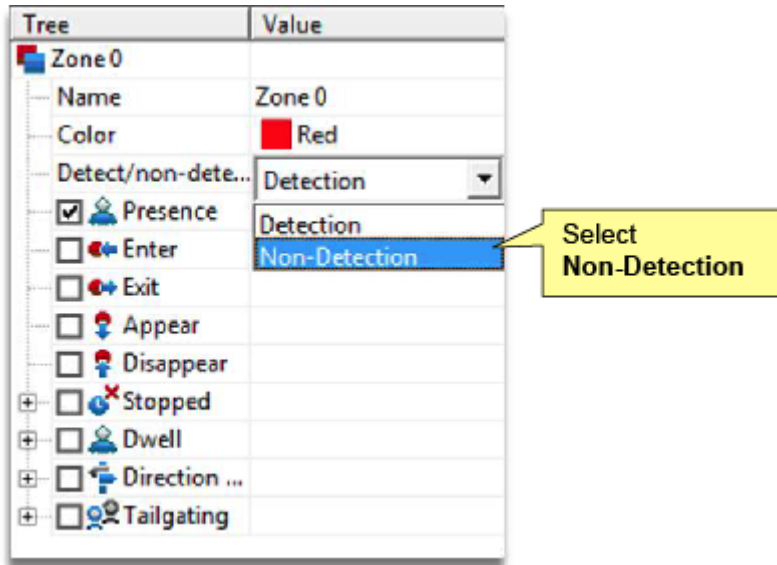
2つの連続するオブジェクト間の最小許容時間をしきい値設定で定義します。
インテリジェント・サーベイランス・ソリューション-19-



インテリジェント・サーベイランス・ソリューション-20-

5.3. 非検出ゾーン

一部の忙しいシーンでは、多くのオブジェクトが検出を妨げることがあります。たとえば、風の強い日には、葉を動かすと誤ったアラームが発生する可能性があります。このような問題を軽減するには、何も検出されない、または追跡されない「非検出」ゾーンを作成します。



6. カウンター

IVS は、アラームをトリガーしたオブジェクトの数をカウントできます。このプログラムは、検出ゾーンまたはラインのグループを、カウンターを割り当てることによって、係数を可能にする。IVS のカウンターは、インクリメンタル、デクリメント、および瞬間カウントをサポートしています。前述の検出プロパティと同様のカウンタープロパティでカウンターを構成します。

6.1. カウンターの作成：

カウンターを作成するには、次の手順を実行します。

1. 「IVS 設定へのアクセス」の説明に従って IVS 設定にアクセスします。IVS が開き、ゾーンとルールタブページが表示されます。
 2. ビデオ画像を右クリックします。メニューが開きます。
 3. [カウンター]を選択します。カウンターを追加します。
- その後、カウンターがビデオ画像に追加されます。

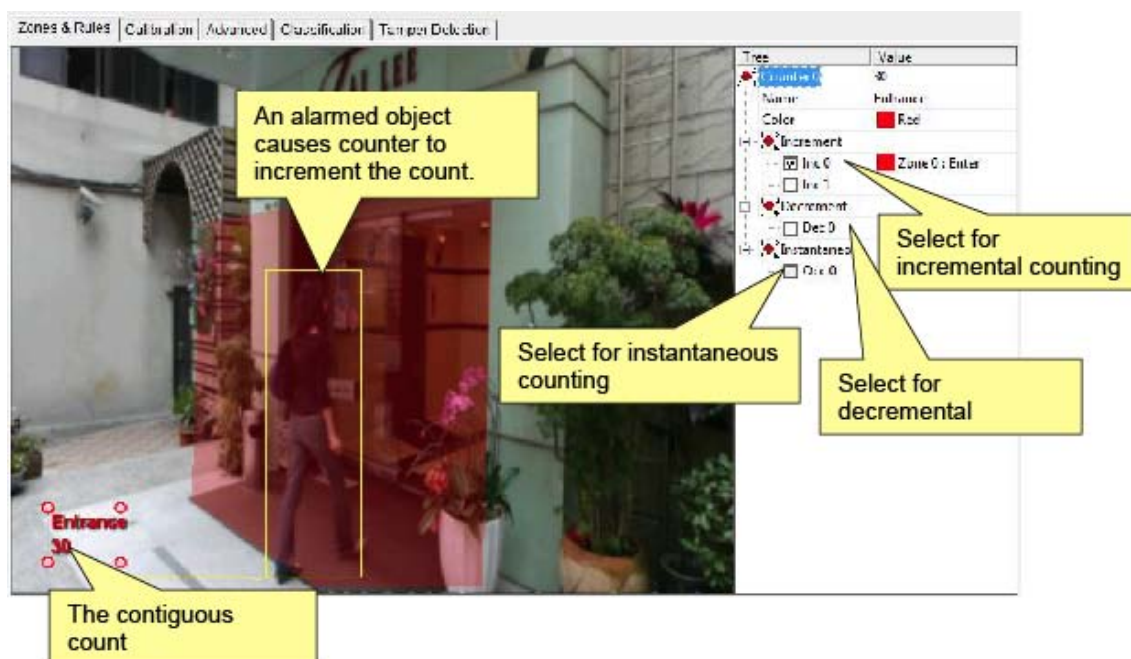
The screenshot displays the IVS software interface with the following elements:

- Top Panel:** Shows the 'Zones & Rules' tab. A context menu is open over a video frame, with 'Add counter' highlighted. Other options include 'Reset All counters' and 'Remove All counters'.
- Right Panel:** A table with columns 'Tree' and 'Value'. It lists 'All zones and lines', 'Zones', 'Zone 0', and 'Counters'.
- Bottom Panel:** Shows the same video frame with a red counter icon labeled 'Entrance' placed on the entrance. A callout box points to the counter with the text: "After creating a counter, set the counter name and counter color first."
- Callouts:**
 - A yellow box labeled 'Counter name' points to the 'Entrance' text.
 - A yellow box labeled 'Click and drag the counter to a desired position on the video' points to the counter icon.
 - A yellow box labeled 'The' points to the counter icon.
- Bottom Right Panel:** A table with columns 'Tree' and 'Value'. It shows 'Counter C' with a value of '0'. Below it, 'Name' is set to 'Entrance' and 'Color' is set to 'Red'. There are also checkboxes for 'Increment', 'Decrement', and 'Instantaneous'.

4. カウンターの名前と色を設定します。
5. OK ボタンを押して変更を保存し、設定を終了します。

6.2. Counter プロパティ

IVS カウンターの場合、オブジェクトによってトリガーされたアラームによってカウントが発生します。したがって、検出されたアラームによってカウントが発生します。したがって、検出されたオブジェクトの数（アラームのトリガー）をカウントするには、検出ゾーンまたは回線を作成し、対応するルールを検出するように設定する必要があります。ゾーンに「カウンターを割り当てた後、カウンターは、インクリメント、デクリメントまたは俊二カウントの方法で、検出されたオブジェクトをカウントすることができます。



この例では、検出ゾーンは、オブジェクトが侵入したときにアラームをトリガーするように設定されています。また、検出ゾーンに入るたびにカウントをインクリメントするようにカウンターが設定されます。30個のオブジェクトがカウントされています。

設定	説明	デフォルト
インクリメント	検出ゾーンがアラームをトリガーするたびにカウントを分量するように設定します。	選択解除(無効)
デクリメント	検出ゾーンがアラームをトリガーするたびに、カウントをデクリメントするように設定します。	選択解除(無効)
瞬時	アラームを同時にトリガーする1つまたは複数のオブジェクトの数を表示するようにカウンターを設定します。	選択解除(無効)

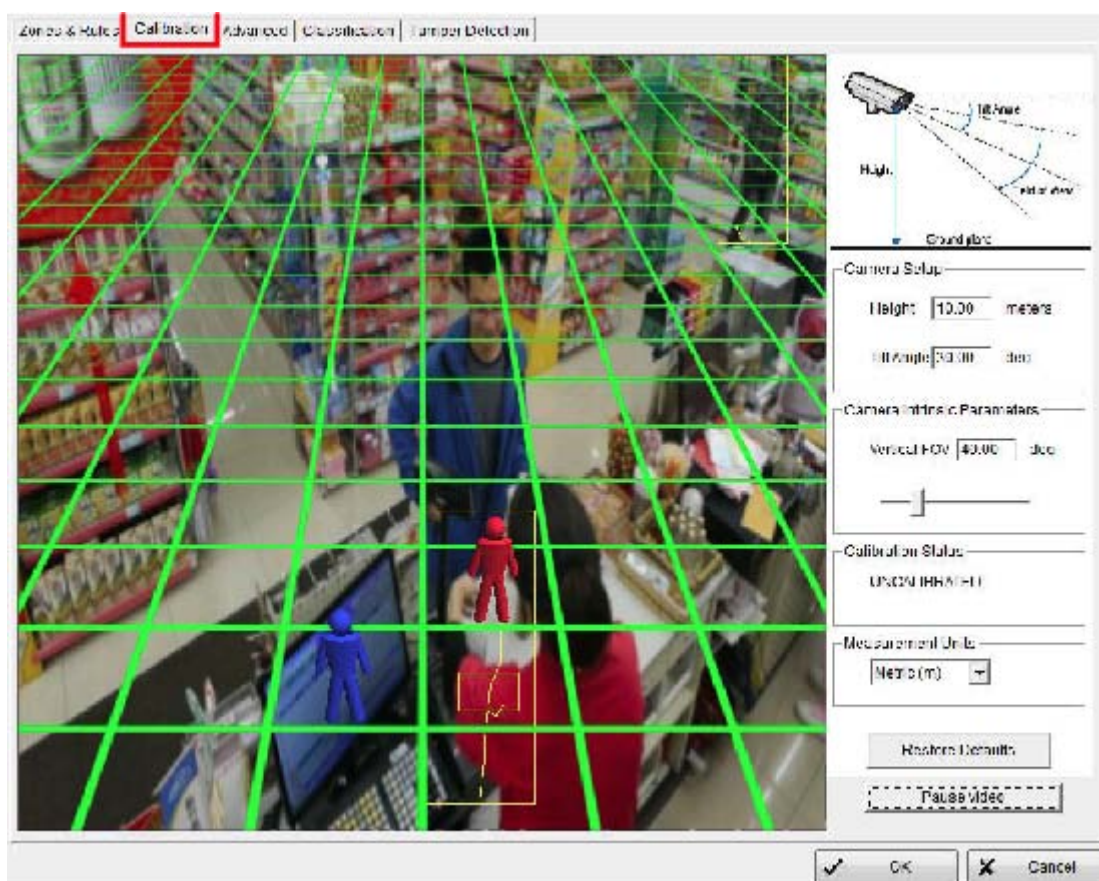
7. カメラの軌正

IVS が速度、高さ、面積などの検出されたオブジェクトのプロパティを計算するためにオブジェクトを異なるクラスに分類するために必要な、高さ、タイルの角度、垂直視野などのパラメーターを修正するためにカメラをキャリブレーションします。

7.1. アクセス

IVS には、キャリブレーションタブページがあり、このページにアクセスするためにカメラをキャリブレーションします。

1. 「IVS 設定へのアクセス」の説明に従って、IVS 設定にアクセスします。[ゾーンとルール]タブページで IVS 設定が開きます。
2. [キャリブレーション]タブをクリックします。校正タブ付きページが開きます。



7.2. 画面上の要素

[キャリブレーション]タブのオンスクリーン要素を使用して、カメラパラメーターを調整します。

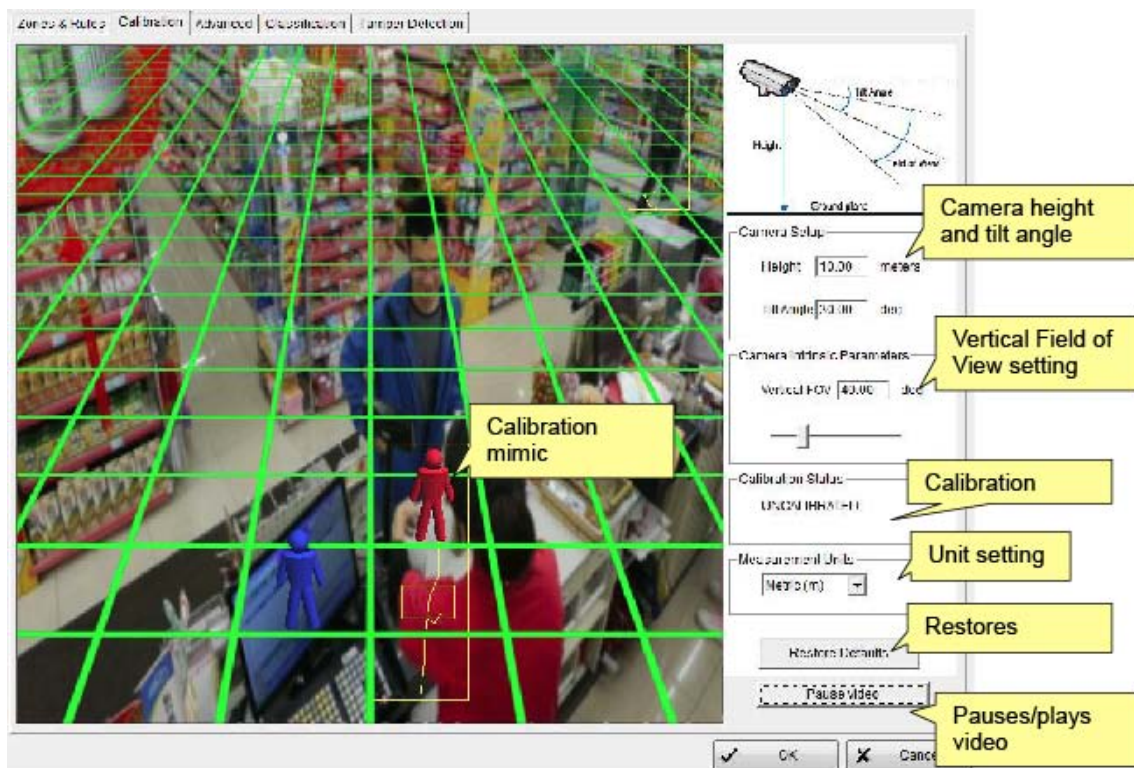
このセクションでは、これらの画面上の要素について詳しく説明します。

7.2.1. 3D グラフィックスオーバーレイ

3D グラフィックスオーバーレイは、ビデオ画像に表示されるグラウンドプレーンを表す緑色のグリッドです。較正の間、ビデオ上の特徴は、そのような 3D グラフィックスオーバーレイと一致する必要があります。

地面には、人の次元をシミュレートするための 3D 模倣がいくつかあります。これらの模倣を使用して、シーン内の人物のサイズを確認します。

注：各グリッドの正方形 2*2 メートル



7.2.2. マウスコントロール

マウスを使用して較正パラメーターを調整します：

地面をクリックしてドラッグし、カメラの傾斜買う θ を変更します。

マウスホイールをスクロールして、カメラの高さを調整します。

Camera Intrinsic Parameters スライダーをドラッグして、カメラの垂直視野を変更します。

7.3. カメラのキャリブレーション

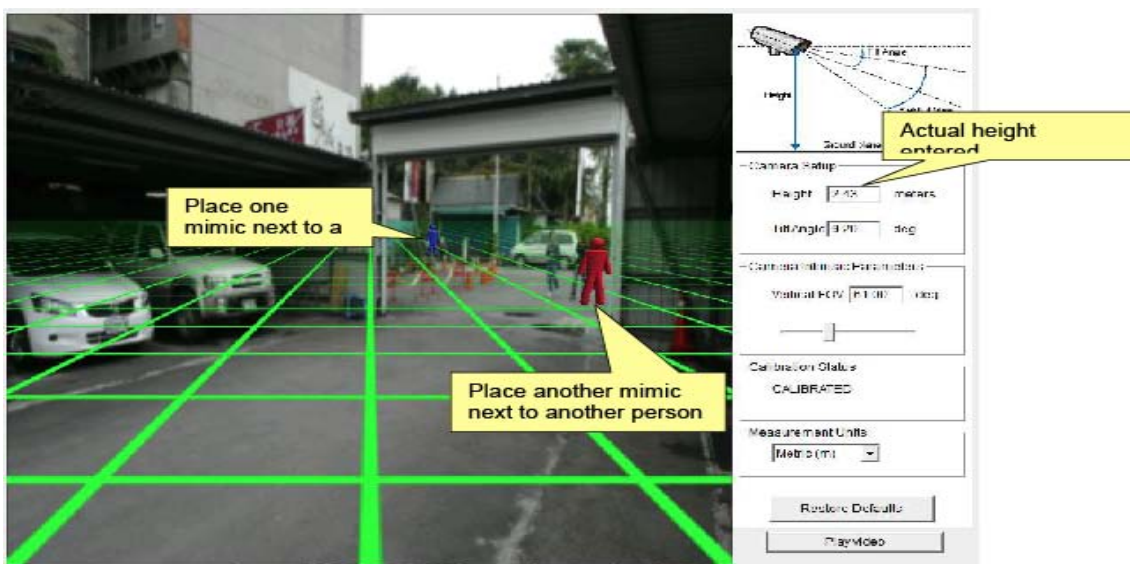
高さ、面積、速度、分類などのオブジェクトパラメーターを推定できるようにカメラをキャリブレーションします。

場合によっては、問題のカメラの高さ、傾斜角、垂直視野を知っている場合は、対応する設定にパラメーターを、入力変更を適用するだけです。

カメラパラメーターが不明の場合は、カメラをキャリブレーションしてください。このセクションでは、キャリブレーションについて説明します。

ステップ 1：シーン内の人を見つける

1. 人物、または人物サイズのオブジェクトをシーン内で見つけます。カメラの近くにいる人と、カメラから離れた人を見つけよう。
2. ビデオの一時停止ボタンをクリックして、ビデオを一時停止して模倣物を正確に配置します。人の上または近くに模倣物を置く。
3. カメラの高さまたは推定高さがわかっている場合は、それを入力します。



インテリジェント・サーベイランス・ソリューション-26-

ステップ 2 : チルト角とカメラの高さを調整する

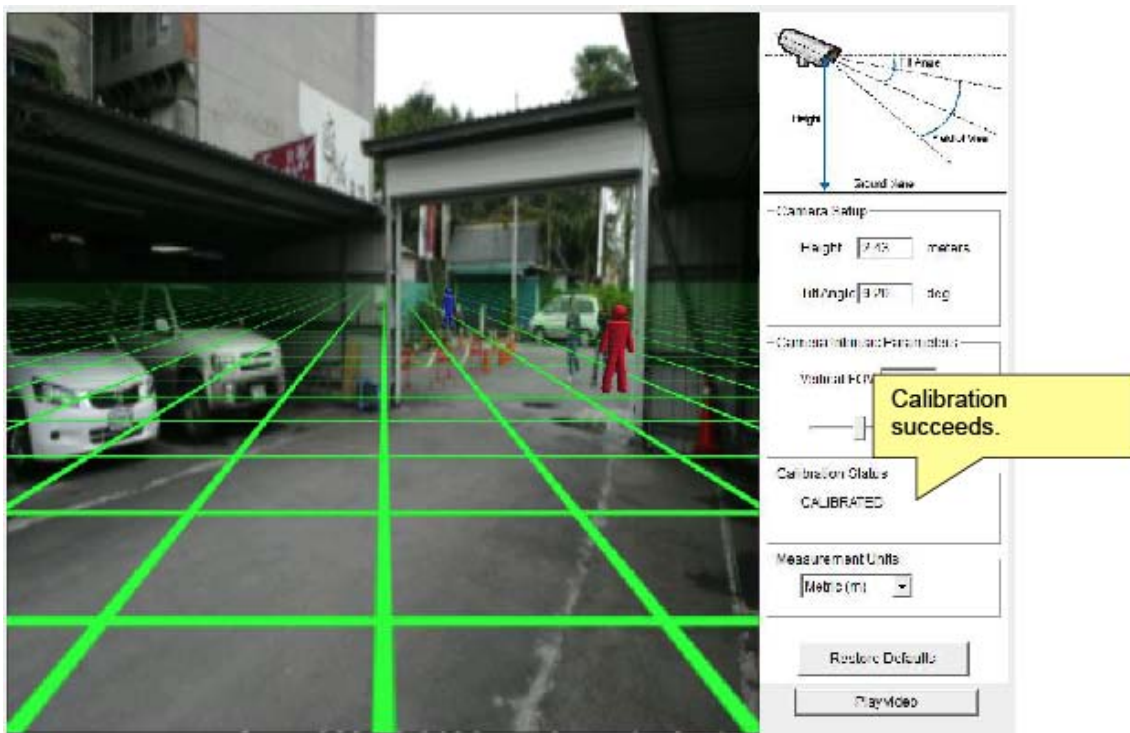
両方の模倣物が現実の実物のサイズとほぼ同じになるまで、カメラの傾斜角度と垂直視野を調整します。

地面をクリックしてドラッグして、カメラの傾き角度を調整します。

マウスホイールをスクロールしてカメラの高さを調整します。

Vertical Field of View スライダーをドラッグして、カメラ垂直視野を調整します。

3つの較正パラメーターは、対応する設定フィールドに反映されます。キャリブレーションステータスボックスは、キャリブレーションが成功した場合に反映されます。



手順3：セットアップを確認する

シーン内の校正の対象物が多いほど、校正は対象物が多いほど、校正はより正確になります。

カメラが校正されると、ビデオ画像のオブジェクトに高さ、面積、速度、および分類がマークされます。

Metric と Imperial の間で測定単位を調整するには、Measurement Units 設定を使用します。



キャリブレーションが間違っている場合に注意してください：奇妙なキャリブレーション設定のためにミミックが消えたりする場合は、Restore Defaults ボタンをクリックしてキャリブレーションを再開してください。

ステップ4：OK ボタンを押して変更を保存し、設定を終了します。

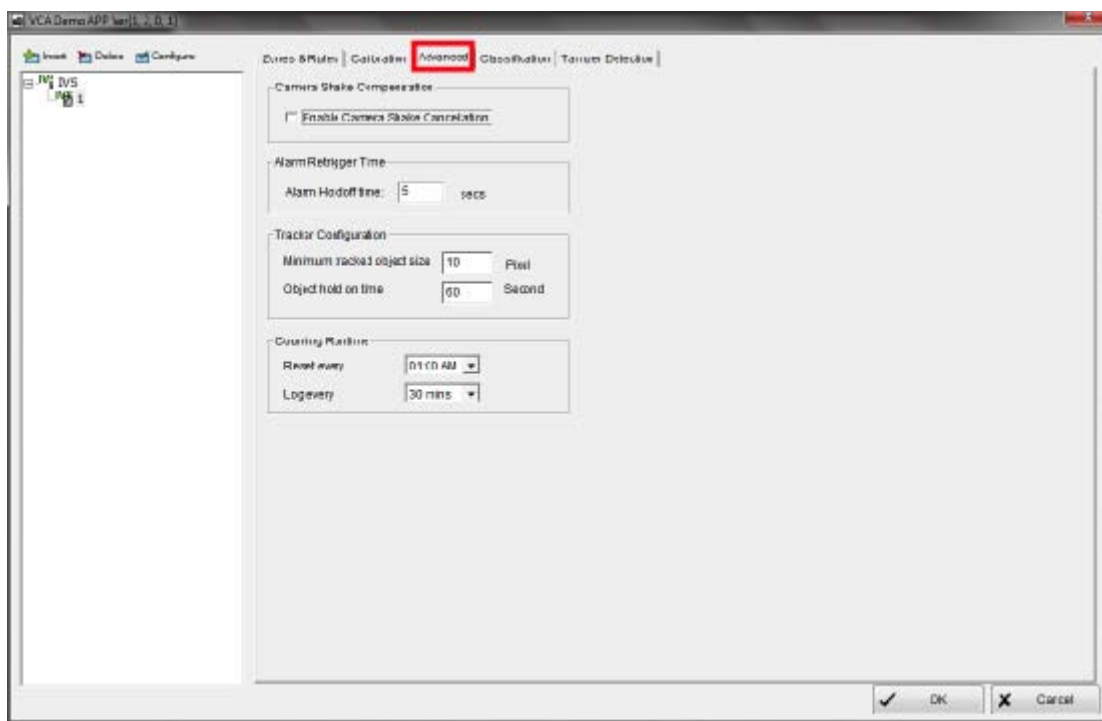
8. 上級 IVS 設定

ほとんどのインストールでは、デフォルトの IVS 設定で十分です。ただし、IVS のパフォーマンスを最適化するために、高度な IVS 設定が必要な場合もあります。IVS は高度なタブ付きページに高度な設定を備えています。

8.1. アクセス

高度な IVS 設定にアクセスするには：

1. 「アクセス IVS 設定」で説明しているように、IVS 設定にアクセスします。 [ゾーンとロール] タブページで IVS 設定が開きます。
2. [詳細設定] タブをクリックします。 詳細タブ付きページが開きます。



8.2. 高度な設定

Zones & Rules | Calibration | **Advanced** | Classification | Tamper Detection

Camera Shake Compensation

Enable Camera Shake Cancellation

Alarm Retrigger Time

Alarm Holdoff time: secs

Tracker Configuration

Minimum tracked object size Pixel

Object hold on time Second

Counting Runtime

Reset every ▼

Log every ▼

[詳細設定]タブページのおすすめ設定は次のとおりです。

設定	説明	デフォルト
カメラシェイク キャンセル	カメラが振動志向の場所に設置されているためにぶれの問題が発生した場合は、IVSのパフォーマンスを向上させるには、[カメラシェイクのキャンセルを有効にする]を選択します。 ▶設置時に手ぶれが問題にならない場合は、この設定を無効にしてIVSの性能を最適にしてください。	選択解除（無効）
アラームトリガー時間	アラームホールドオフ時間は、オブジェクトに対して定義されたルールによってトリガーされる2つの連続するアラーム間の遅延を設定します。	5秒

トラッカーの設定	追跡するものと追跡する時間を設定します。おすすめの設定は次の通りです。		
	設定	説明	デフォルト
	最小追跡オブジェクトサイズ	追跡するオブジェクトの最小サイズを定義します。 ▶通常、このパラメータを変更する必要はありません。 ▶ノイズ耐性を犠牲にする小さなオブジェクトを追跡するには、値を小さくします。	10ピクセル
オブジェクトホールドン時間	オブジェクトが静止する前にオブジェクトを追跡する時間を定義します。 ▶IVSは、定義されたオブジェクトホールドン時間の後に静止しているオブジェクトを忘れます。	60秒	

実行時間のカウンント	おすすめの設定は次のとおりです。		
	設定	説明	デフォルト
	毎回リセットする	毎日カウンターをリセットする時間を設定します。	01 : 00AM
毎回ログ	カウントをログファイルに書き込む頻度を設定します。	30 分ごと	

9. 分類

カメラが校正されると、**IVS** はオブジェクト分類が可能であり、ビデオ画像上にそれを示す。分類は、オブジェクトの領域や速度などのオブジェクトのプロパティに依存します。

IVS 構成には、最も一般的なオブジェクトクラスがあらかじめロードされています。ほとんどの場合、変更する必要はありません。分類パラメーターを変更する必要がある場合、**IVS** は分類タブ設定ページで分類設定を行い、新しいオブジェクトクラスを追加し、事前ロードされた分類パラメーターを変更します。この章では、分類設定を変更する方法について説明します。

9.1. アクセス

分類設定にアクセスするには：

1. 「アクセス **IVS** 設定」で説明しているように、**IVS** 設定にアクセスします。 [ゾーンとルール] タブページで **IVS** 設定が開きます。

2. [分類] タブをクリックします。

分類タブページが開きます。

ID	Name
0	Person
1	Group of People
2	Vehicle
3	Clutter

Detailed object classifier information

Name: Clutter

Enable: Yes

Min Area (m²): 0.0

Max Area (m²): 0.4

Min Speed (km/h): 0

Max Speed (km/h): 50

Buttons: Add New Object Classifier, Remove Object Classifier, Reset Default Values

9.2.分類設定

[分類]タブページのおすすめ設定は次のとおりです。

設定	説明	デフォルト
新しいオブジェクト分類を追加する	新しいオブジェクトクラスを追加します。	--
オブジェクト分類を削除する。	選択したオブジェクトクラスを削除します。	--
デフォルト値をリセットする	分類設定をデフォルト状態に戻します。	--
名前	クラスを名前でダビングします。	オブジェクト ID いいえ
有効にする	クラスを動作させる。	はい
最小面積 (m*m)	オブジェクト領域の下限を設定します。	0.0
最大面積 (m*m)	オブジェクト領域の上限を設定します。	200.0
最小速度 (km/h)	オブジェクト速度の下限を設定します。	0
最高速度 (km/h)	オブジェクトの速度の上限を設定します。	200

どのクラスにも適合しないオブジェクトは、ビデオ画像では「Unclassified」とラベル付けされています。

10. タンパー検出

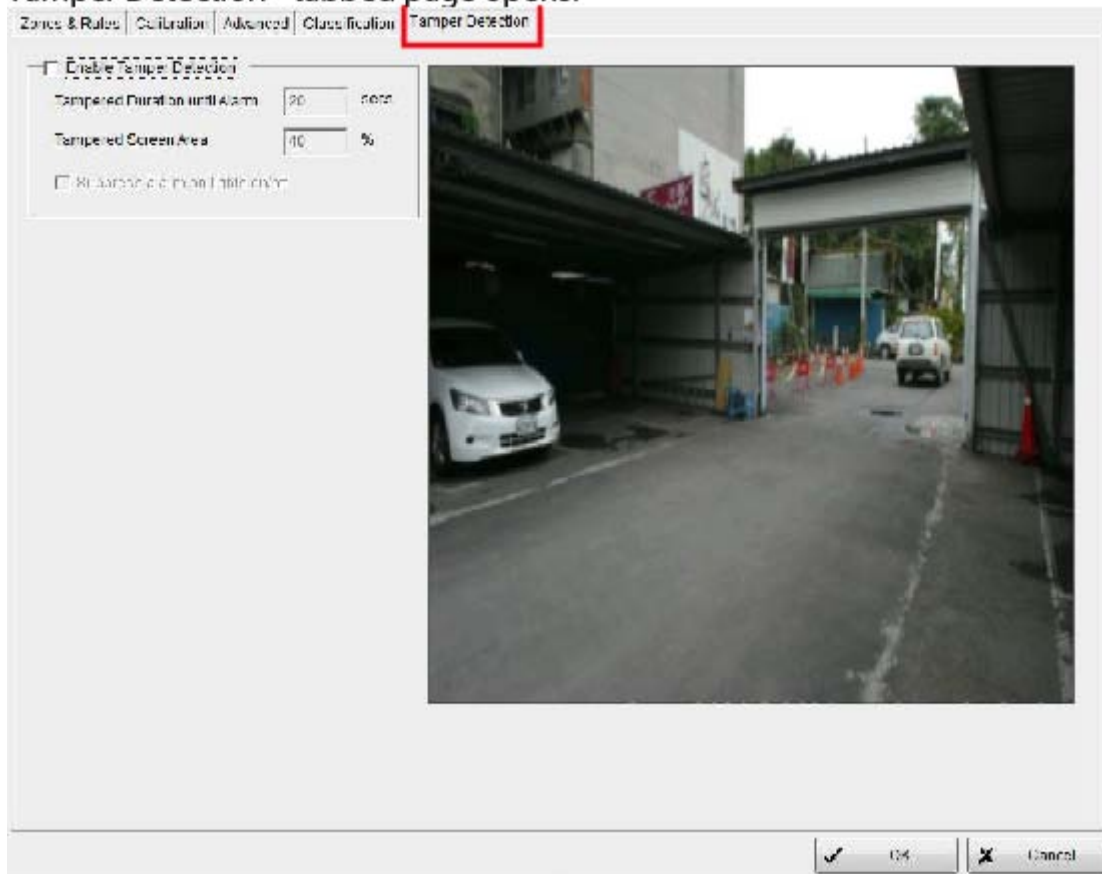
IVS は、妨害、デフォーカス、リダイレクト、スプレー塗装などの改ざんイベントをカメラで検出するためのタンパー検出機能を備えています。改ざん検出は、ビデオ画像の大きな永続的変化を検出することに依存する。

10.1. アクセス

テンパリング検出設定にアクセスするには：

1. 「アクセス IVS 設定」で説明しているように、IVS 設定にアクセスします。 [ゾーンとルール] タブページで IVS 設定が開きます。
2. 改ざん検出タブをクリックします。
改ざん検出タブ付きページが開きます。

Tamper Detection tabbed page opens.



10.2.タンパー検出設定

タンパー検出タブページの特長は次のとおりです。


設定	説明	デフォルト
タンパー検出を有効にする	タンパー検出を有効にします。	選択解除（無効）
アラームまでの改ざんされた期間	ビデオ画像がタンパーアラームを引き起こすために持続的に変化する時間を設定します。	20 秒
改ざんされた画面領域	改ざんアラームをトリガーするためにビデオ画像がどれだけ変化するかを設定します。	40%
ライトの点灯/消灯を抑制する	屋内照明のオン/オフなど、大きくて迅速な画像照明の変化のシナリオを除外します。これは、しばしば誤った改ざんアラームを引き起こします。 ▶この機能はアラームをトリガーする感度を犠牲にして実行されるため、照明の急な変化がインストールではあまり問題にならない場合はお勧めしません。	選択解除（無効）

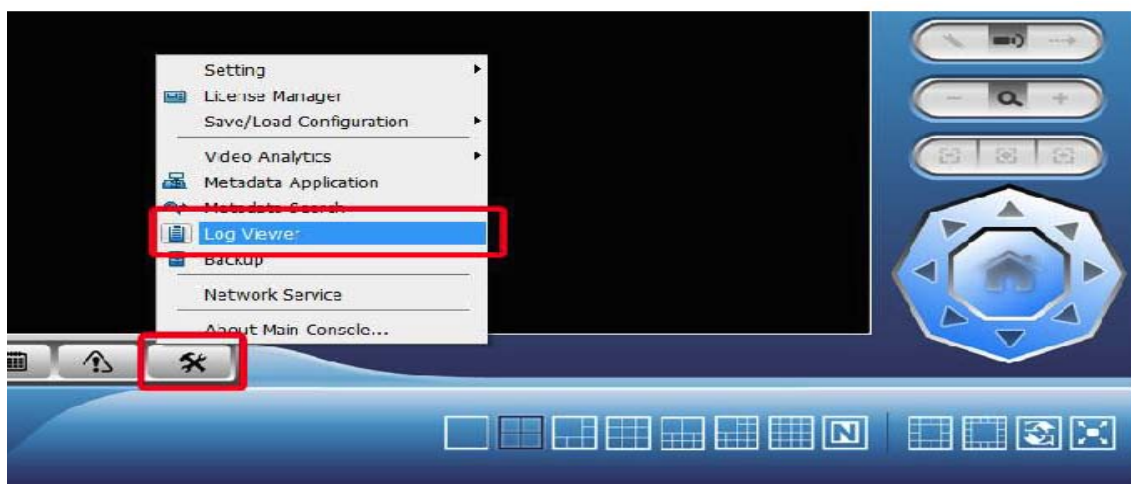
11. IVS ログビューア

IVS は、メインコンソールのログビューアで履歴の実行と、(メインコンソールの) Smart Guardで検出された異常イベントのレポートのエクスポートをサポートしていました。

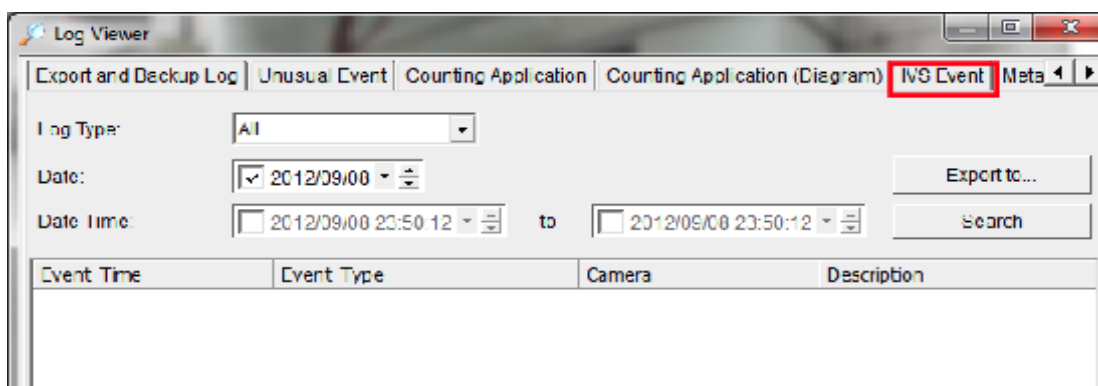
11.1 ログビューア

ログビューアを起動するには：

- 1.メインコンソール画面で、 ボタンをクリックします。メニューが開きます。
2. [ログビューア]を選択します。



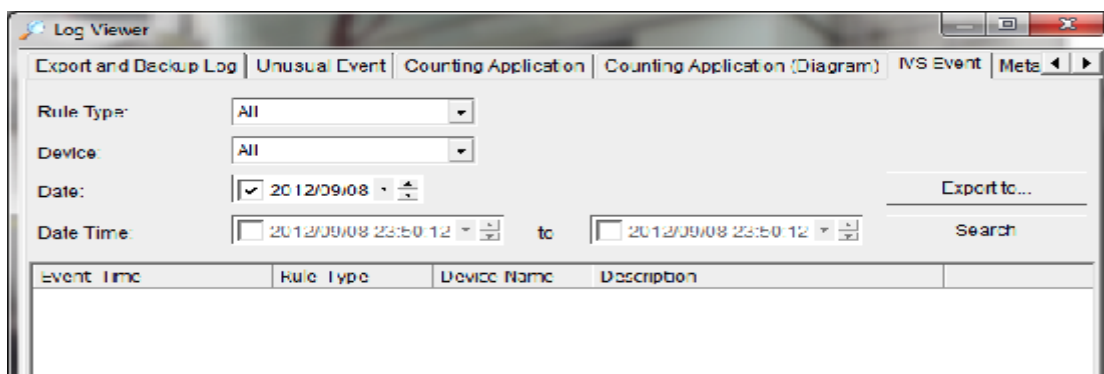
ログビューアが開きます。



IVS Event タブをクリックします。

IVS Event タブページが開きます。

インテリジェント・サーベイランス・ソリューション-36-

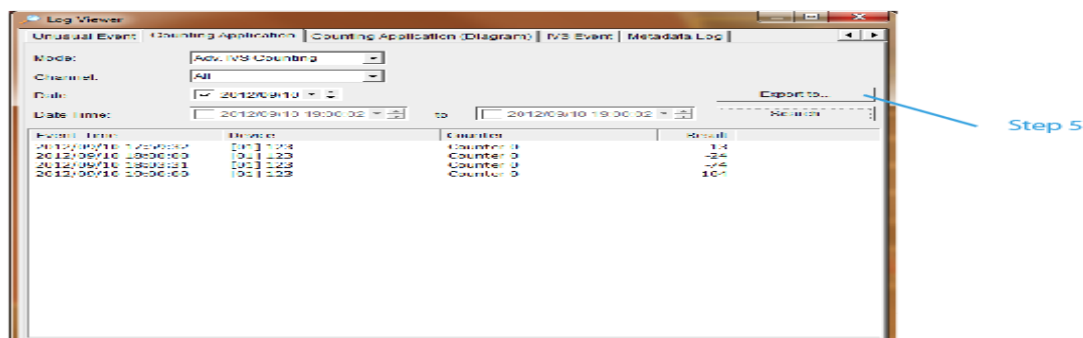


IVS イベントタブ付きの特長の設定は次のとおりです。

設定	説明	デフォルト
ルールタイプ	表示するイベントのタイプを割り当てます。 ▶すべての種類のイベントを表示するには、「すべて」を選択します。	すべて
デバイス	ログを表示するカメラを選択します。	すべて
日付	ログを表示する日付を選択します。	現在の日付
日付時刻	ログを表示する特定のタイムスロットを設定します。	現時点
サーチ	割り当てられたイベントの履歴を実行します。	--
エクスポート先	イベント履歴を EXCEL ファイルにエクスポートします。	--

11.2 計数アプリケーション

一定期間に計数アプリケーションの履歴を表示します。



インテリジェント・サーベイランス・ソリューション-37-

ステップ 1: 基本カウントまたは Adv. ドロップダウンメニューから目的のモードを選択します。 IVS カウント。

ステップ 2: チェックするチャンネルを選択するか、すべてのチャンネルのドロップダウンメニューからすべてを選択します。

ステップ 3: 検索期間を選択します。検索期間を選択することで、特定の日付または特定の期間に発生したイベントを表示できます。特定の日付の場合：日付ボックスを右にチェックし、日付を指定します。期間：Date Time を確認し、日付と時刻を入力します。

ステップ 4: [検索]をクリックします。

ステップ 5: エクスポートボタンを押します。

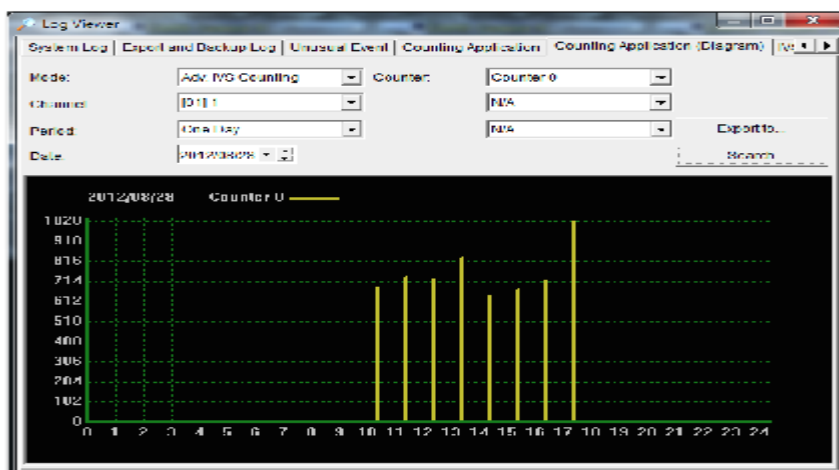
ステップ 6: ファイル名を入力し、ファイル形式 (.xls または.txt) を選択します。

11.3 計数アプリケーション (ダイアグラム)

ダイアグラムに計数アプリケーションデータを表示します。

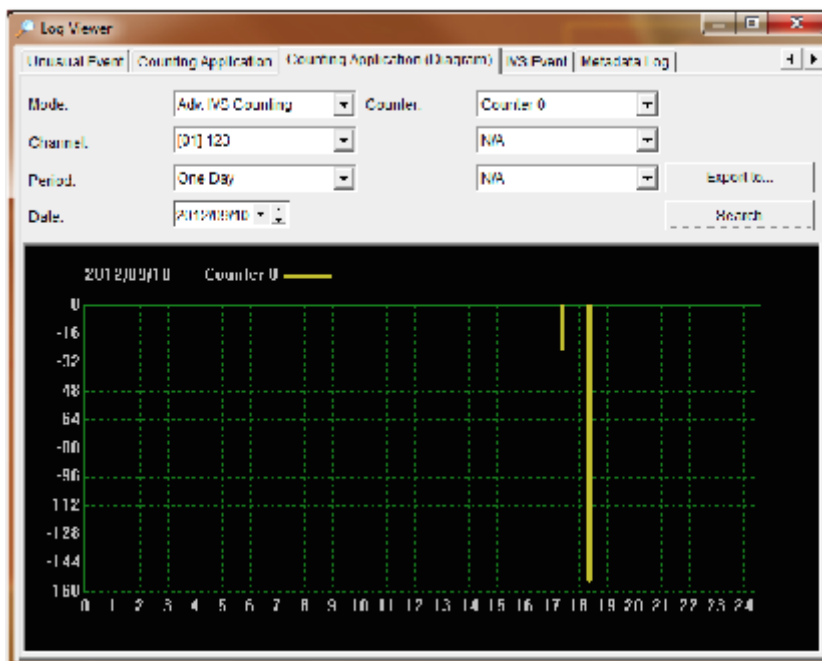
設定	説明
インクリメント	検出ゾーンがアラームをトリガーするたびにカウントを増分するように設定します。
デクリメント	検出ゾーンがアラームをトリガーするたびに、カウントをデクリメントするように設定します。
瞬時	アラームを同時にトリガーする 1 つまたは複数のオブジェクトの数を表示するようにカウンターを設定します。

カウンター：インクリメント

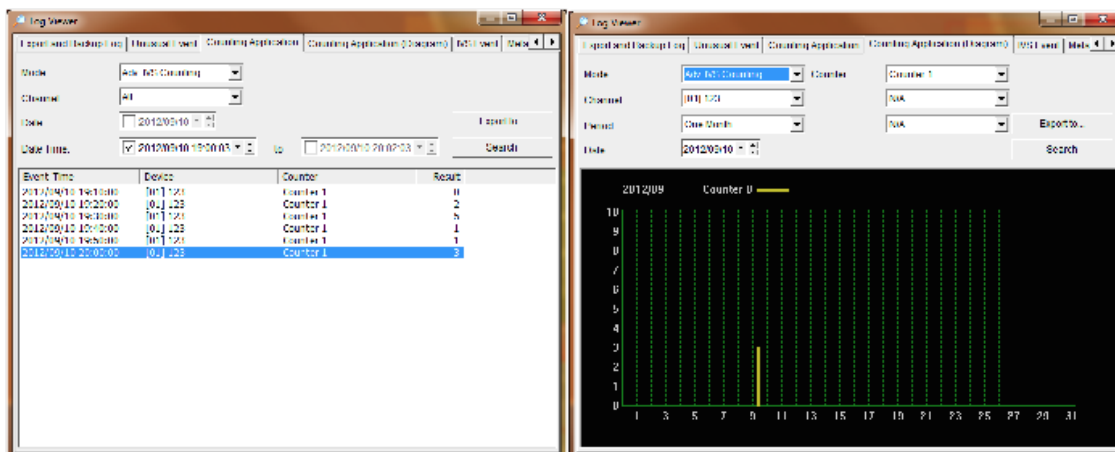


インテリジェント・サーベイランス・ソリューション-38-

カウンター：デクリメント



カウンター：即時



注：瞬時ログは、期間の最後の値をカウントします

- ステップ 1: チェックするモードとチャネルを選択し、カウンタを選択します (最大 3)。
- ステップ 2: ドロップダウンメニューから、ダイアグラムの表示方法を設定します。1 日、1 ヶ月、または 1 年のオプションがあります。
- ステップ 3: 特定の日付を選択して、それを図の開始点にします。
- ステップ 4: [検索] をクリックします。
- ステップ 5: エクスポートボタンを押します。

ステップ 6 : ファイル名を入力すると、ファイルは **BMP** ファイルとして保存されます。